



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション  
コード番号 6674 URL <http://www.gs-yuasa.com/jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 依田 誠  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 コーポレート室長 (氏名) 中川 敏幸

TEL 075-312-1211

四半期報告書提出予定日 平成25年10月31日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	147,911	16.0	3,739	△7.8	5,079	2.6	3,045	△3.3
25年3月期第2四半期	127,481	△3.3	4,057	△15.4	4,952	△2.3	3,147	27.1

(注)包括利益 26年3月期第2四半期 4,812百万円 (295.7%) 25年3月期第2四半期 1,216百万円 (101.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	7.38	—
25年3月期第2四半期	7.63	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	307,762	147,840	42.4
25年3月期	290,368	141,189	43.2

(参考)自己資本 26年3月期第2四半期 130,421百万円 25年3月期 125,352百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	350,000	27.5	16,000	63.7	17,000	38.7	10,000	73.4	24.22

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、四半期決算短信[添付資料]3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (4) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	413,574,714 株	25年3月期	413,574,714 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	762,026 株	25年3月期	753,540 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	412,817,464 株	25年3月期2Q	412,828,942 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信[添付資料]3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更 .....	3
(3) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(4) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
4. 補足情報 .....	12
(1) 四半期損益の推移 .....	12
(2) 平成26年3月期 第2四半期連結決算の概要 .....	13

※当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定であります。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定であります。

・平成25年11月6日（水）…………… 機関投資家・アナリスト向け第2四半期決算説明会

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### ①業績全般の動向

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、財政及び金融政策の効果による円安・株高基調が続き、個人消費が回復してきたことや、震災からの復旧・復興需要などの内需に支えられ、景気は回復傾向にありました。

世界経済に目を転じますと、米国経済では個人消費や住宅投資が堅調に推移するなど、引き続き緩やかな回復基調にありました。また欧州経済はドイツなど一部に持ち直しの兆しが見られるものの、債務危機及び経済情勢の悪化に伴う景気後退が続いており、加えて中国においても輸出不振の表面化などにより景気が一段と減速するなど、先行き不透明な中で推移しました。

このような経済状況の中、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、国内では電源装置の販売などが増加したことに加え、当第2四半期よりタイの持分法適用関連会社を連結子会社化したことなどもあり、1,479億11百万円と前第2四半期連結累計期間に比べて204億29百万円増加(16.0%)しました。

当第2四半期連結累計期間の営業利益は、電源装置の販売が好調であったことや、海外及びその他のセグメントでの利益改善があったものの、主原料である鉛相場の上昇や、リチウムイオン電池セグメントにおいて減価償却費などの固定費の負担が増加したこともあり、37億39百万円と前第2四半期連結累計期間に比べて3億17百万円減少(△7.8%)しました。経常利益は、主に為替差益の計上により、50億79百万円と前第2四半期連結累計期間に比べて1億26百万円増加(2.6%)しました。四半期純利益は、当社子会社製車載用リチウムイオン電池の不具合に関するリコール関連損失及び、投資有価証券の売却益を計上し、さらに税金費用及び少数株主損益を計上した結果、30億45百万円と前第2四半期連結累計期間に比べて1億2百万円減少(△3.3%)しました。

なお、当社の連結子会社である㈱リチウムエナジー ジャパンは、主要得意先である三菱自動車工業㈱が、同社製品に搭載されている車載用リチウムイオン電池の不具合に関するリコールの届出を平成25年6月4日に行ったことを受け、サプライヤーとしての対応が必要となっております。当該リコール関連損失については、第1四半期において30億円の特別損失を計上しておりますが、㈱リチウムエナジー ジャパンにおける今後の対応方針や三菱自動車工業㈱との交渉等により、本件に起因する当社の損失が今後も相当額増加する可能性があります。ただし、同社に対する当社持分比率は51%であり、当期純利益への影響もこの比率に応じたものとなります。

#### ②報告セグメント別の動向

##### (国内自動車電池)

売上高は、アイドリングストップ車用及びハイブリッド車スターター用を中心に新車用鉛電池が売上を伸ばしましたが、補修用鉛電池は総需要の減少に伴い、また自動車関連部品の販売も減少し、259億37百万円と前第2四半期連結累計期間に比べて8億8百万円減少(△3.0%)しました。セグメント損益は、販売の減少及び主原料である鉛相場の上昇もあり、6億46百万円と前第2四半期連結累計期間に比べて6億77百万円減少(△51.2%)しました。

##### (国内産業電池及び電源装置)

売上高は、太陽光発電設備用電源装置やフォークリフト用鉛電池の需要が好調に推移していることなどにより、334億24百万円と前第2四半期連結累計期間に比べて31億55百万円増加(10.4%)しました。セグメント損益は、販売増加に伴い生産が好調に推移したことなどにより、29億95百万円と前第2四半期連結累計期間に比べて6億91百万円増加(30.0%)しました。

##### (海外)

売上高は、主にタイの持分法適用関連会社を連結子会社化したことなどにより、769億95百万円と前第2四半期連結累計期間に比べて159億57百万円増加(26.1%)しました。セグメント損益は、主原料である鉛相場の上昇があったものの、販売増加に伴う利益増加もあり、42億17百万円と前第2四半期連結累計期間に比べて6億15百万円増加(17.1%)しました。

##### (リチウムイオン電池)

売上高は、ハイブリッドカー向け車載用リチウムイオン電池の販売が増加したことにより、68億99百万円と前第2四半期連結累計期間に比べて21億4百万円増加(43.9%)しました。セグメント損益は、減価償却費などの固定費の負担が増加したことや、生産の急速な立ち上げに伴う初期製造費用が一時的に増加したこと、品質対応に伴い費用が増加したことなどから、50億70百万円の損失となり、前第2四半期連結累計期間に比べて20億83百万円悪化しました。

(その他)

売上高は、46億55百万円と前第2四半期連結累計期間に比べて21百万円増加(0.5%)しました。全社費用等調整後のセグメント損益は、本社管理部門の経費削減に加え、特殊電池や照明事業の利益改善もあり、9億50百万円と前第2四半期連結累計期間に比べて11億36百万円改善しました。

## (2) 財政状態に関する説明

Siam GS Battery Co., Ltd.及びSiam GS Sales Co., Ltd.を連結子会社化したことにより、総資産は3,077億62百万円と前連結会計年度末に比べて173億93百万円増加し、また負債は1,599億22百万円と前連結会計年度末に比べて107億43百万円増加しました。これに加えて、冬場や期末の需要期を控えて作り留めをしたこともあり、総資産の内棚卸資産が増加しました。

なお、連結財務諸表上、Siam GS Battery Co., Ltd.及びSiam GS Sales Co., Ltd.の貸借対照表につきましては第1四半期末より取り込み、また損益計算書につきましては、当第2四半期連結会計期間より取り込んでおります。

純資産は、配当金の支払がありました。第2四半期純利益や為替換算調整勘定の増加により1,478億40百万円と前連結会計年度末に比べて66億50百万円増加しました。

### 【キャッシュ・フローの状況】

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は152億61百万円と前連結会計年度末に比べて40億51百万円増加(36.1%)しました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と主たる要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産の増加、法人税等の支払額がありましたが、税金等調整前四半期純利益、減価償却費により32億79百万円のプラス(前年同期は95億86百万円のプラス)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却、Siam GS Battery Co., Ltd.及びSiam GS Sales Co., Ltd.を連結子会社化し現金及び預金を取り込んだことによる収入がありましたが、有形固定資産を取得したこともあり、1億80百万円のマイナス(前年同期は150億41百万円のマイナス)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金が増加しましたが、配当金の支払いがあったため71百万円のマイナス(前年同期は11億92百万円のマイナス)となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期純利益が平成25年5月9日に公表した業績予想を上回る結果となりましたが、平成26年3月期連結会計年度の通期連結業績予想は売上高、営業利益、経常利益、当期純利益いずれも変更しておりません。当社では、連結子会社である(株)リチウムエナジー ジャパンにおける三菱自動車工業(株)製品のリコール問題について追加で相当額の損失を計上する可能性があるものの、財務施策等を講じていることもあり、足下の状況では変化しないと判断しております。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更

第1四半期連結会計期間末において、Siam GS Battery Co., Ltd.及びSiam GS Sales Co., Ltd.を、Siam GS Battery Co., Ltd.の第三者割当増資を引き受けたため、連結の範囲に含めております。

### (3) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (4) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、建物を除く有形固定資産の減価償却方法について、従来、定率法によっておりましたが、生産高と減価償却費等の設備維持費用との対応関係について検討した結果、使用可能期間にわたり減価償却費を均等配分することがより適切であると判断したこと、また、重要性が増している海外連結子会社との会計方針の統一の観点から、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この変更により、従来の方法によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1,610百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 平成25年3月31日	当第2四半期連結会計期間 平成25年9月30日
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,223	15,309
受取手形及び売掛金	62,239	62,590
商品及び製品	24,666	27,716
仕掛品	10,110	13,440
原材料及び貯蔵品	8,172	12,087
繰延税金資産	2,962	2,946
その他	9,651	8,395
貸倒引当金	△324	△337
流動資産合計	128,703	142,149
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	47,357	53,673
機械装置及び運搬具（純額）	29,682	38,792
土地	20,762	21,718
リース資産（純額）	3,121	2,749
建設仮勘定	11,671	3,088
その他（純額）	2,440	3,815
有形固定資産合計	115,037	123,839
無形固定資産		
リース資産	636	544
その他	1,711	1,764
無形固定資産合計	2,347	2,309
投資その他の資産		
投資有価証券	37,271	32,113
その他	7,564	7,909
貸倒引当金	△571	△565
投資その他の資産合計	44,265	39,457
固定資産合計	161,650	165,605
繰延資産	14	7
資産合計	290,368	307,762

(単位：百万円)

	前連結会計年度 平成25年3月31日	当第2四半期連結会計期間 平成25年9月30日
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,104	31,225
短期借入金	37,684	44,080
コマーシャル・ペーパー	4,000	—
未払金	13,795	14,491
未払法人税等	2,495	2,856
設備関係支払手形	1,368	2,152
その他	12,054	12,773
流動負債合計	98,504	107,580
固定負債		
長期借入金	29,990	33,432
リース債務	2,987	2,508
退職給付引当金	6,775	4,504
その他	10,921	11,896
固定負債合計	50,674	52,341
負債合計	149,179	159,922
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,021	33,021
資本剰余金	54,880	54,880
利益剰余金	34,974	35,542
自己株式	△315	△319
株主資本合計	122,559	123,124
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,987	6,351
繰延ヘッジ損益	△62	△33
土地再評価差額金	1,427	1,427
為替換算調整勘定	△5,559	△449
その他の包括利益累計額合計	2,792	7,296
少数株主持分	15,836	17,419
純資産合計	141,189	147,840
負債純資産合計	290,368	307,762

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 自 平成24年4月 1日 至 平成24年9月30日	当第2四半期連結累計期間 自 平成25年4月 1日 至 平成25年9月30日
売上高	127,481	147,911
売上原価	99,337	116,549
売上総利益	28,144	31,362
販売費及び一般管理費	24,087	27,622
営業利益	4,057	3,739
営業外収益		
受取利息	49	77
受取配当金	199	223
持分法による投資利益	1,598	1,302
為替差益	—	266
その他	506	487
営業外収益合計	2,353	2,356
営業外費用		
支払利息	721	608
為替差損	373	—
その他	363	408
営業外費用合計	1,458	1,016
経常利益	4,952	5,079
特別利益		
固定資産売却益	42	29
投資有価証券売却益	—	1,498
退職給付信託設定益	—	1,442
預託金戻入益	14	—
その他	12	286
特別利益合計	70	3,256
特別損失		
固定資産除却損	95	156
固定資産売却損	2	6
投資有価証券評価損	79	—
リコール関連損失	—	3,000
その他	170	297
特別損失合計	348	3,460
税金等調整前四半期純利益	4,674	4,875
法人税等	2,503	4,989
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	2,170	△114
少数株主損失(△)	△977	△3,159
四半期純利益	3,147	3,045

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 自 平成24年4月 1日 至 平成24年9月30日	当第2四半期連結累計期間 自 平成25年4月 1日 至 平成25年9月30日
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	2,170	△114
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,527	△657
繰延ヘッジ損益	△42	29
為替換算調整勘定	492	4,442
持分法適用会社に対する持分相当額	123	1,111
その他の包括利益合計	△953	4,927
四半期包括利益	1,216	4,812
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,199	7,549
少数株主に係る四半期包括利益	△982	△2,736

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 自 平成24年4月 1日 至 平成24年9月30日	当第2四半期連結累計期間 自 平成25年4月 1日 至 平成25年9月30日
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,674	4,875
減価償却費	6,345	6,092
投資有価証券評価損益 (△は益)	79	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△1,498
負ののれん発生益	—	△70
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△33	△27
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△204	△239
受取利息及び受取配当金	△248	△300
支払利息	721	608
為替差損益 (△は益)	51	△15
退職給付信託設定損益 (△は益)	—	△1,442
固定資産売却損益 (△は益)	△40	△22
固定資産除却損	95	156
持分法による投資損益 (△は益)	△1,598	△1,302
売上債権の増減額 (△は増加)	9,927	4,557
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,864	△4,881
仕入債務の増減額 (△は減少)	△7,431	193
その他	1,692	319
小計	12,165	7,002
利息及び配当金の受取額	843	909
利息の支払額	△789	△642
法人税等の支払額	△2,632	△3,990
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,586	3,279
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△19,769	△6,482
有形固定資産の売却による収入	99	326
投資有価証券の取得による支出	△4	△110
投資有価証券の売却による収入	—	2,953
子会社株式の取得による支出	△199	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	3,281
貸付けによる支出	△0	△2
貸付金の回収による収入	35	114
補助金の受取額	4,872	—
その他	△75	△262
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,041	△180

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 自 平成24年4月 1日 至 平成24年9月30日	当第2四半期連結累計期間 自 平成25年4月 1日 至 平成25年9月30日
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	3,035	12,806
長期借入れによる収入	301	3,803
長期借入金の返済による支出	△579	△12,574
自己株式の取得による支出	△1	△3
配当金の支払額	△3,303	△2,471
少数株主への配当金の支払額	△272	△1,062
連結子会社増資に伴う少数株主からの払込による収入	272	—
その他	△643	△569
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,192	△71
現金及び現金同等物に係る換算差額	59	1,024
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△6,587	4,051
現金及び現金同等物の期首残高	16,476	11,210
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	20	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,909	15,261

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	国内 自動車電池	国内産業 電池及び 電源装置	海外	リチウム イオン電池	計		
売上高							
外部顧客への売上高	25,969	29,267	60,315	4,745	120,297	7,184	127,481
セグメント間の内部売上高又は振替高	776	1,001	722	49	2,549	△2,549	—
計	26,745	30,269	61,037	4,795	122,847	4,634	127,481
セグメント利益又は損失 (△)	1,324	2,304	3,602	△2,987	4,243	△185	4,057

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント及びセグメント利益の調整額であります。報告セグメントに含まれない事業セグメントは、照明事業等を含んでおります。セグメント利益の調整額は△1,101百万円であり、セグメント間取引消去△610百万円、及び各報告セグメントに配分していない全社費用△491百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	国内 自動車電池	国内産業 電池及び 電源装置	海外	リチウム イオン電池	計		
売上高							
外部顧客への売上高	25,379	32,329	76,319	6,839	140,868	7,042	147,911
セグメント間の内部売上高又は振替高	558	1,094	675	59	2,387	△2,387	—
計	25,937	33,424	76,995	6,899	143,256	4,655	147,911
セグメント利益又は損失 (△)	646	2,995	4,217	△5,070	2,789	950	3,739

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント及びセグメント利益の調整額であります。報告セグメントに含まれない事業セグメントは、照明事業等を含んでおります。セグメント利益の調整額は△1,087百万円であり、セグメント間取引消去△632百万円、及び各報告セグメントに配分していない全社費用△455百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、建物を除く有形固定資産の減価償却方法について、従来、定率法によっておりましたが、生産高と減価償却費等の設備維持費用との対応関係について検討した結果、使用可能期間にわたり、減価償却費を均等配分することがより適切であると判断したこと、また、重要性が増している海外連結子会社との会計方針の統一の観点から、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益が、それぞれ「国内自動車電池事業」で97百万円、「国内産業電池及び電源装置事業」で142百万円増加し、セグメント損失が、「リチウムイオン電池事業」で1,094百万円減少しております。

## 4. 補足情報

## (1) 四半期損益の推移

平成26年3月期 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)

(単位: 百万円)

	①第1四半期 (H25/4-6)	②第2四半期 (H25/7-9)	③第3四半期 (H25/10-12)	④第4四半期 (H26/1-3)	⑤第2四半期 (①+②)	⑥第3四半期 (⑤+③)	⑦通期 (⑥+④)
売上高	65,632	82,278	—	—	147,911	—	—
営業利益	1,609	2,130	—	—	3,739	—	—
経常利益	2,658	2,421	—	—	5,079	—	—
四半期(当期)純利益	127	2,917	—	—	3,045	—	—

平成25年3月期 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)

(単位: 百万円)

	①第1四半期 (H24/4-6)	②第2四半期 (H24/7-9)	③第3四半期 (H24/10-12)	④第4四半期 (H25/1-3)	⑤第2四半期 (①+②)	⑥第3四半期 (⑤+③)	⑦通期 (⑥+④)
売上高	62,900	64,581	68,396	78,631	127,481	195,878	274,509
営業利益	1,426	2,630	2,405	3,311	4,057	6,463	9,775
経常利益	1,927	3,025	3,207	4,099	4,952	8,159	12,258
四半期(当期)純利益	1,062	2,085	2,371	248	3,147	5,519	5,767

平成24年3月期 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)

(単位: 百万円)

	①第1四半期 (H23/4-6)	②第2四半期 (H23/7-9)	③第3四半期 (H23/10-12)	④第4四半期 (H24/1-3)	⑤第2四半期 (①+②)	⑥第3四半期 (⑤+③)	⑦通期 (⑥+④)
売上高	60,348	71,546	73,358	80,180	131,895	205,253	285,434
営業利益	812	3,985	4,129	7,103	4,797	8,927	16,030
経常利益	1,186	3,881	4,934	7,989	5,067	10,002	17,991
四半期(当期)純利益	131	2,344	3,251	6,005	2,476	5,727	11,733

平成23年3月期 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)

(単位: 百万円)

	①第1四半期 (H22/4-6)	②第2四半期 (H22/7-9)	③第3四半期 (H22/10-12)	④第4四半期 (H23/1-3)	⑤第2四半期 (①+②)	⑥第3四半期 (⑤+③)	⑦通期 (⑥+④)
売上高	59,229	68,793	69,417	75,073	128,022	197,440	272,514
営業利益	2,241	3,872	5,841	5,633	6,114	11,955	17,589
経常利益	2,079	3,750	6,365	5,318	5,829	12,195	17,513
四半期(当期)純利益	815	1,798	5,427	3,681	2,613	8,041	11,722

平成22年3月期 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)

(単位: 百万円)

	①第1四半期 (H21/4-6)	②第2四半期 (H21/7-9)	③第3四半期 (H21/10-12)	④第4四半期 (H22/1-3)	⑤第2四半期 (①+②)	⑥第3四半期 (⑤+③)	⑦通期 (⑥+④)
売上高	48,917	60,442	63,595	74,269	109,360	172,955	247,224
営業利益	△ 2,243	2,156	4,235	7,373	△ 87	4,148	11,521
経常利益	△ 2,293	2,340	4,032	6,092	47	4,079	10,171
四半期(当期)純利益	△ 2,412	740	2,096	6,064	△ 1,672	423	6,487

## (2) 平成26年3月期 第2四半期連結決算の概要

		第2四半期連結累計期間			増 減 ② - ①	通 期		
		平成23年 9月期	平成24年 9月期 ①	平成25年 9月期 ②		平成24年 3月期	平成25年 3月期	平成26年 3月期 (予想)
売上高	百万円	131,895	127,481	147,911	20,429	285,434	274,509	350,000
国内自動車電池	百万円	27,342	25,969	25,379	△ 589	58,784	55,648	59,000
国内産業電池及び電源装置	百万円	28,593	29,267	32,329	3,062	68,464	72,427	80,000
海外	百万円	60,480	60,315	76,319	16,004	120,906	119,885	166,000
リチウムイオン電池	百万円	7,864	4,745	6,839	2,093	20,974	10,597	28,000
その他	百万円	7,615	7,184	7,042	△ 141	16,303	15,951	17,000
営業利益	百万円	4,797	4,057	3,739	△ 317	16,030	9,775	16,000
国内自動車電池	百万円	1,095	1,324	646	△ 677	4,266	3,931	4,000
国内産業電池及び電源装置	百万円	2,119	2,304	2,995	691	9,640	10,813	11,000
海外	百万円	3,151	3,602	4,217	615	6,006	6,380	8,500
リチウムイオン電池	百万円	△ 1,370	△ 2,987	△ 5,070	△ 2,083	△ 3,265	△ 11,249	△ 7,500
その他	百万円	△ 198	△ 185	950	1,136	△ 617	△ 100	0
経常利益	百万円	5,067	4,952	5,079	126	17,991	12,258	17,000
四半期(当期)純利益	百万円	2,476	3,147	3,045	△ 102	11,733	5,767	10,000
1株当たり四半期(当期)純利益	円	6.00	7.63	7.38	△ 0.25	28.42	13.97	24.22
1株当たり中間(年間)配当額	円	0.00	0.00	0.00	0.00	8.00	6.00	8.00
設備投資	百万円	22,659	24,391	7,809	△ 16,582	38,849	33,159	25,000
減価償却費	百万円	5,273	6,124	5,845	△ 279	11,228	13,264	12,000
営業活動によるキャッシュ・フロー	百万円	△ 2,761	9,586	3,279	△ 6,307	8,287	19,069	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	百万円	△ 6,458	△ 15,041	△ 180	14,861	△ 28,660	△ 29,249	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	百万円	9,123	△ 1,192	△ 71	1,120	13,152	3,839	—
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	百万円	23,975	9,909	15,261	5,352	16,476	11,210	—
総資産	百万円	268,819	274,141	307,762	33,620	278,426	290,368	—
純資産	百万円	123,787	133,959	147,840	13,880	136,221	141,189	—
借入金総額	百万円	57,304	59,156	77,512	18,356	56,124	71,674	—
自己資本比率	%	39.6	41.6	42.4	0.8	41.3	43.2	—
1株当たり純資産	円	257.95	276.25	315.9	39.68	278.87	303.65	—
海外売上高比率	%	47.1	48.4	52.7	4.3	43.4	44.4	—
グループ期末従業員数	人	12,574	12,514	13,314	800	12,265	12,599	—
連結子会社数	社	60	57	57	—	59	56	—
国内	社	28	25	24	△ 1	27	24	—
海外	社	32	32	33	1	32	32	—